

というわけで強引に  
イタリア旅行決定

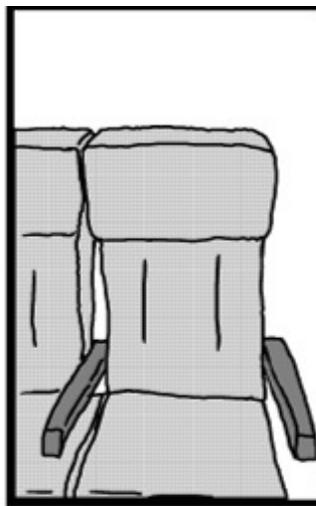
UNO



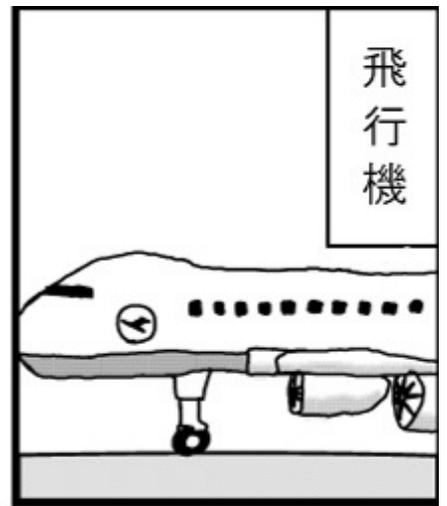
1日目

1日目 ① 出発編





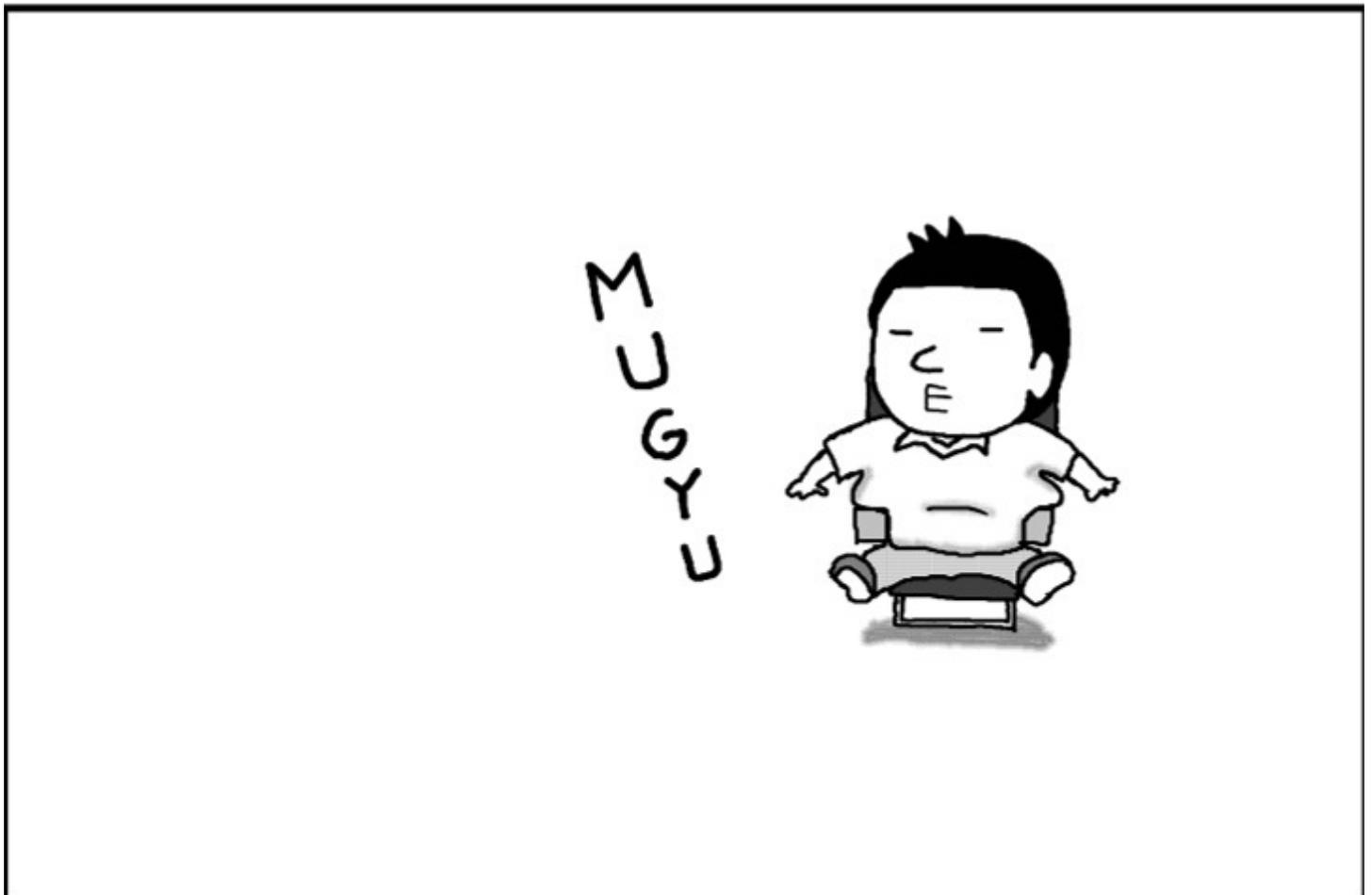
当然のことながらビジネスに  
乗るような余裕はなく  
我々はエコノミー



いつかの日かビジネスに  
乗ってやろうと心に誓いつつ



ここからはアタシの陣地だから  
入ってくるんじゃない



1日目 ② 鬼門フランクフルト



とにかく空港が  
デカいっ！

ここから乗り換えて  
フレンツェに行くわけだが



長いフライトを終えドイツの  
フランクフルトに到着



入国審査

長蛇の列



それっ  
いそげー！



フレンツェ行き  
のフライトまで1時間弱

旅慣れない我々にとっては  
かなり危険な持ち時間である



ホテルは？  
どこにある？

旅行？何日滞在？  
どこをどうやって周る？



ハロー！  
どちらから来たの？



しかもスタッフは  
かなり香気なチャラ男たち



ようやく我々の順番になったが  
例外なく細かく質問されるも  
何言ってるか全然わからない

なにっ？  
英語わかんないって  
ノーアイアム！



おーい  
時間ねえって!!

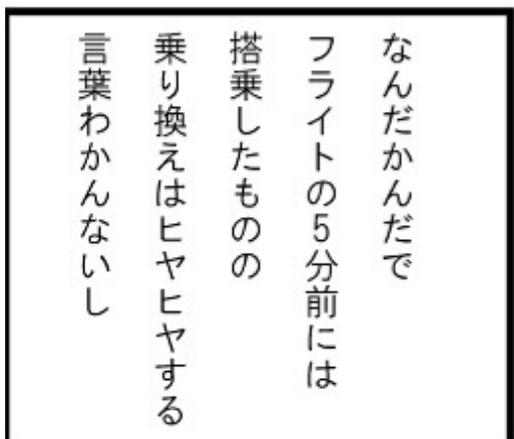
しかも時間がないのに  
時折ゲルマンジョークも飛び出し  
長蛇の列の全員に対しこのペース



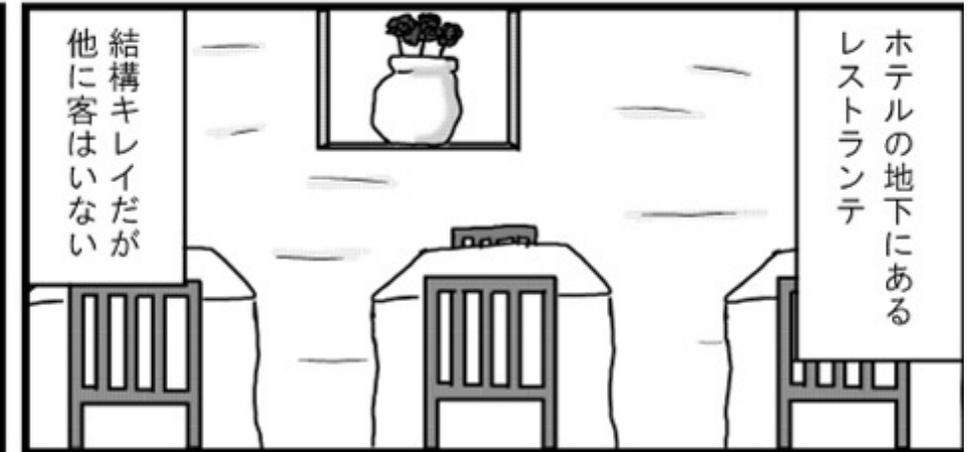
ホテルのパンフとかある？

どうやって行く？

ただのナンパ野郎かと思っただけで  
一人ひとりに質問している



1日目 ③ ホテルのレストランテ

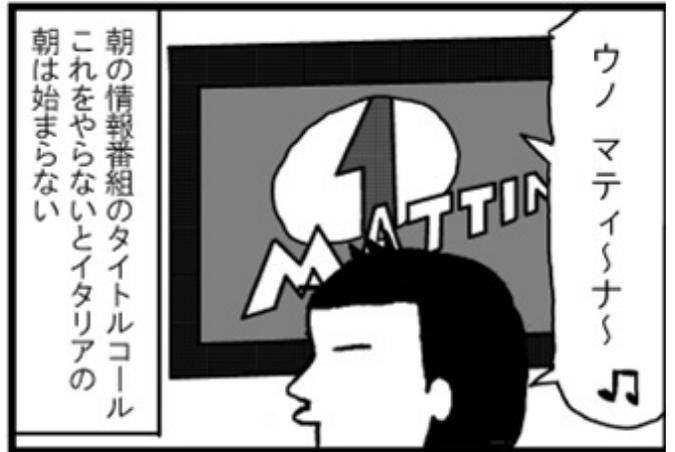
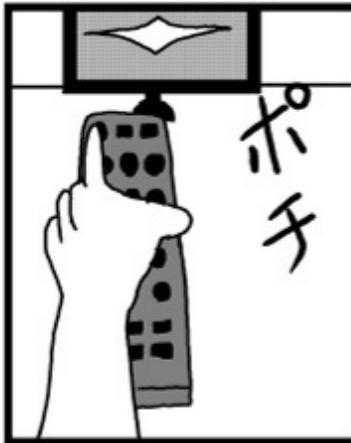


DUE



2日目

2日目 ① フィレンツェ散歩





いつも思うが外観が  
なんかハリボテみたい



サンタマリアノヴェツラ教会



そして次に行くのは

おっ

やっぱフィレンツェといえば



思わず拝んでしまう

イムイム



でも中はやっぱりスゴイ



いつみてもドウオモの  
スケールには圧倒される

ほえ〜



ドウオモ



つーかなんでもいいけど  
寒いんじゃない!!



いやー  
でもイタリアはいいね



ドウオモのありがた味も  
なくなってしまう

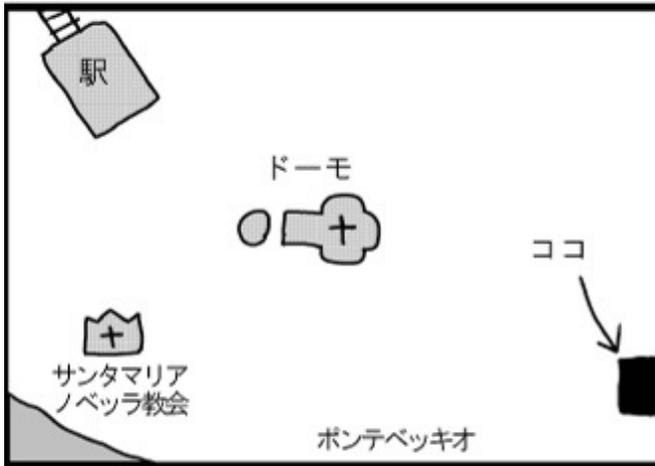
満員電車みたい

しかしドウオモの広場は  
スゴイ観光客

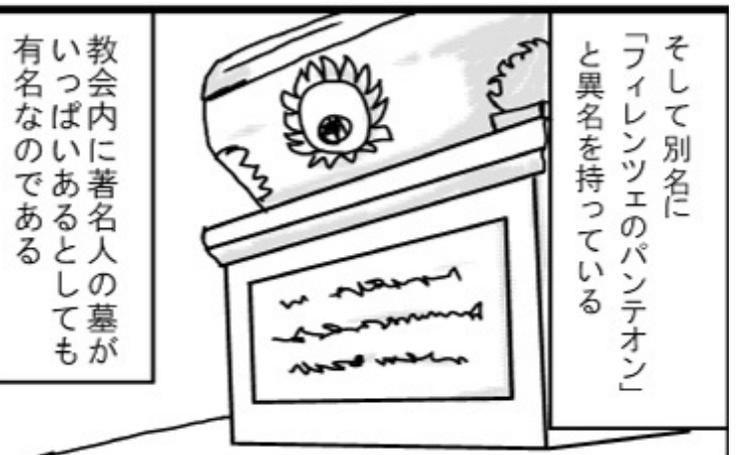
2日目 ② サンタクローチェ教会



サンタクローチェ教会



確かにサンタクローチェ教会は中心街から微妙に外れている



超大物著名人の墓は立派に作られているが



ガリレオ

そこそこの人の墓は床の至るところに無造作に作られている

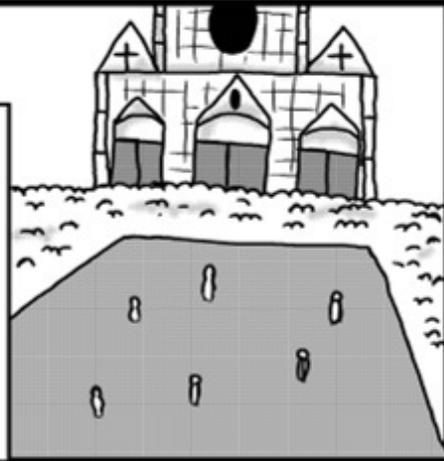


だから足の踏み場に非常に困る

あーっ すいません!! おわっコツチも!!



ちなみに外の広場では大昔から毎年6月にカルチョ・ストリコ・フィオレンティーノという名の中世版サッカーが伝統行事として行われている



試合はフィレンツェを地区ごとに4チームに分けて行われる

しかしサッカーといっても名ばかりで

手も足も使ってよく何でもありのデスマッチ



当然こうなる

てか何でそんなことすんの？



は？



いや情熱というかロマンというか？

痛いし疲れるしバカじゃないの

それより寒いっつの



2日目 ③ サンタ・マリア・ノヴェツラ薬局



オッサン丸出しの  
オカマの人が手当たり次第  
投げキッスを乱射して  
道行く男性を虐殺している



な、なんだよあの  
人 イキナリ殺人的な  
投げキッスを喰らったけど



その後、少し歩いて  
サンタ・マリア・ノヴェツラ  
薬局へむかう

薬局行きたい

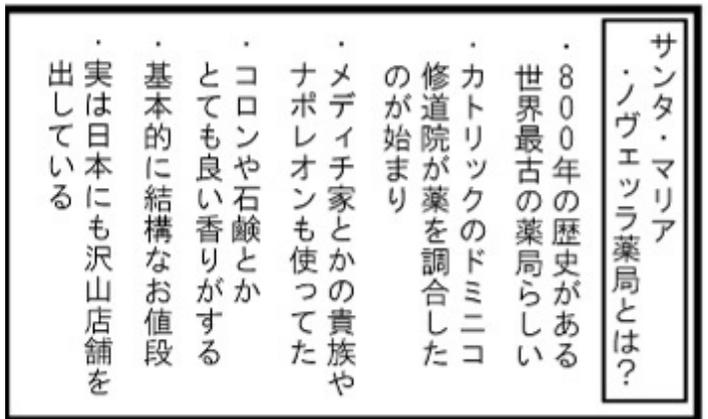


「シニョーリア広場の怪人」  
としてフィレンツェ七不思議に  
認定しようじゃないか



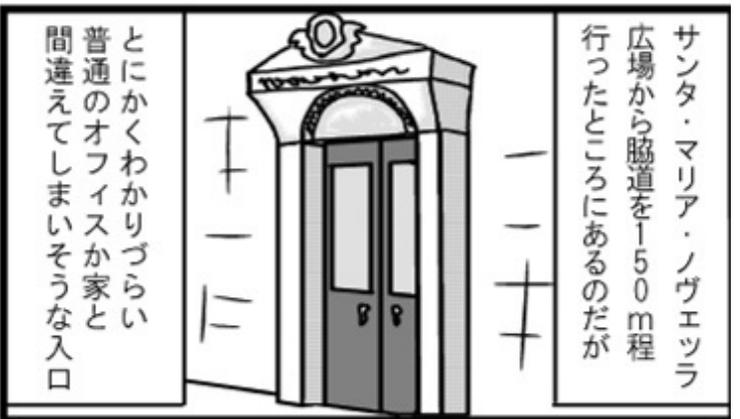
どこにでも  
変わった人はいる

いやいやスゴイものを  
みてしまった



サンタ・マリア  
・ノヴェツラ薬局とは？

- ・800年の歴史がある
- ・世界最古の薬局らしい
- ・カトリックのドミニコ修道院が薬を調査したのが始まり
- ・メディチ家とかの貴族やナポレオンも使ってた
- ・コロンや石鹸とかとても良い香りがする
- ・基本的に結構なお値段
- ・実は日本にも沢山店舗を出している



サンタ・マリア・ノヴェツラ  
広場から脇道を150m程  
行ったところにあるのだが

とにかくわかりづらい  
普通のオフィスか家と  
間違えてしまいそうな入口



僕はイタリア語

しかしここはイキッて  
あえてイタリア語を選ぶべし

まずは最初に入りにある  
メニユー表をゲット  
各国語のメニユーがあり  
日本語ももちろんある

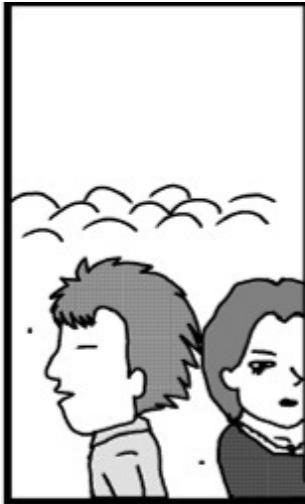


薬局といっても店内は  
まるで博物館のよう

がしかし普段見掛けない  
単語がズラリとならんで  
さっぱり読めない



それにしても店内の客層は  
日本人3割 中国人6割と  
アジア人が大半を占める



特に中国は国慶節という  
大型連休中のため観光客も  
圧倒的な人数

買うアル

行くアル

それアル

中国語が飛び交う



ちなみに購入までの流れは  
まず店員にサンプル品を  
見せてもらう

とりあえずココがスゴイ人  
しかも誰も並びやしねえ



欲しい物が決まったら  
店員から商品名の書かれた  
カードをもらう

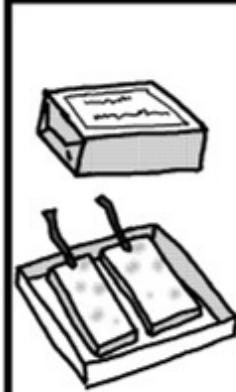


それを別室にあるレジに  
持っていくと支払いをして  
商品を受け取る

ちよつとメンドくさい  
システムをとってる



石鹸とかタボレット(部屋用香料)  
なんかは割とリーズナブルで  
かさばらずに、お土産としても  
結構喜ばれる



が、小さいからといって  
買い過ぎると意外と重くて



この日は使うかどうか  
わからないが場の雰囲気  
流されてコロンを購入



フー  
買った  
買った



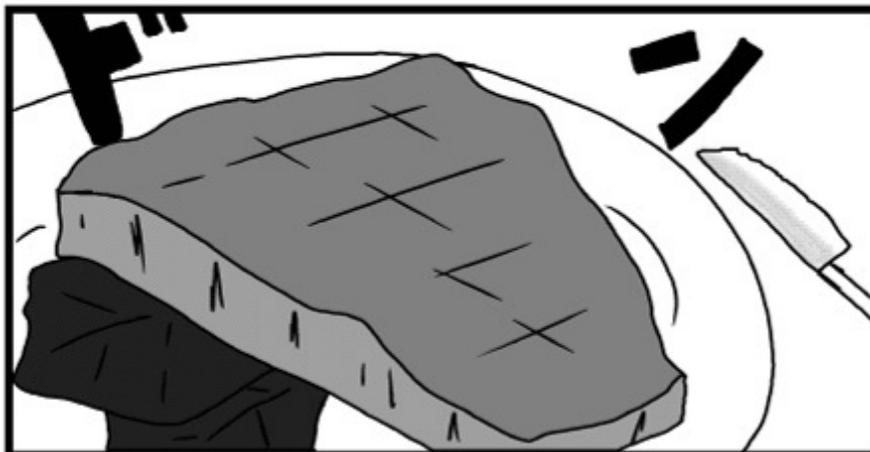
ハイ持って  
重いから



なんとなくサザエさんの  
付き添いでデパートに行った  
マスオさんの気分なのである

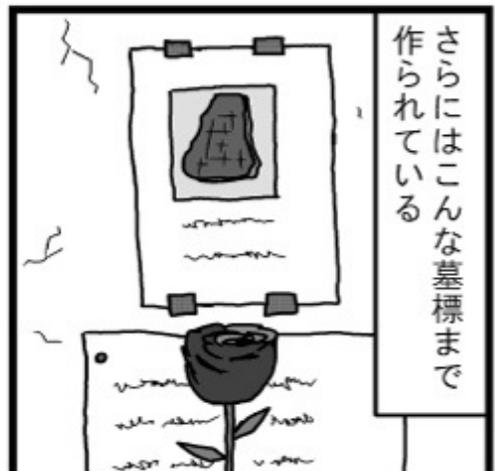
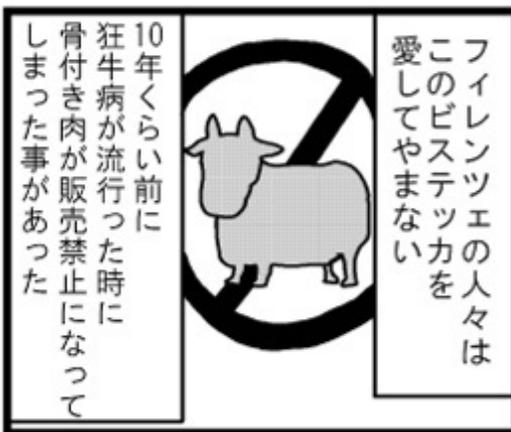
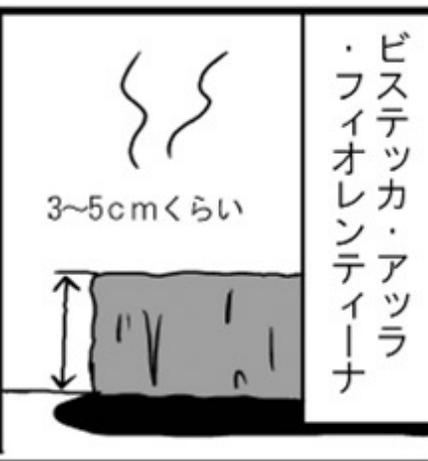


2日目 ④ ビステッカ・アツラ・フィオレンティーナ



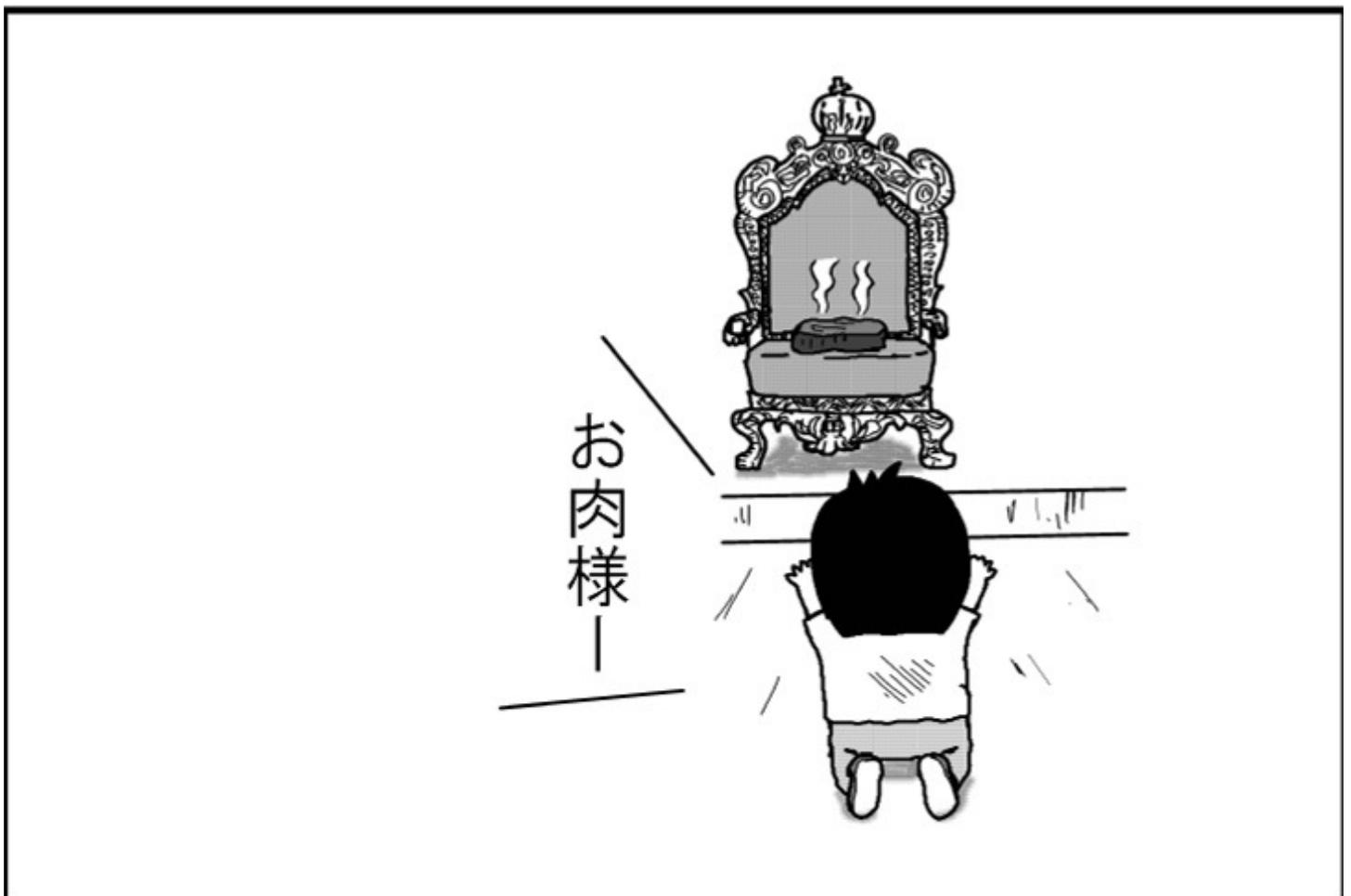
輸入規制の都合で  
日本ではなかなかお目  
にかかることができないので  
感動の再会

巨大かつ分厚い  
骨付きTボーンステーキを  
塩コショウとオリブオイルで  
食べるフィレンツェ名物





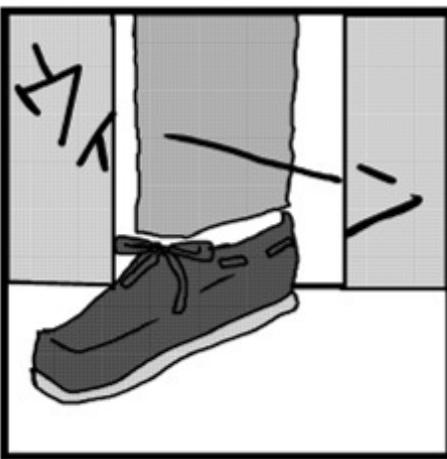
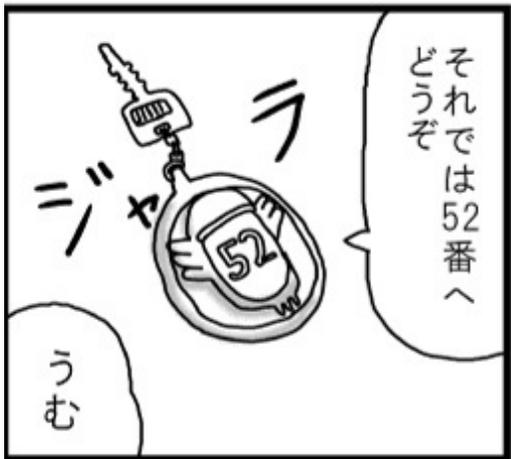
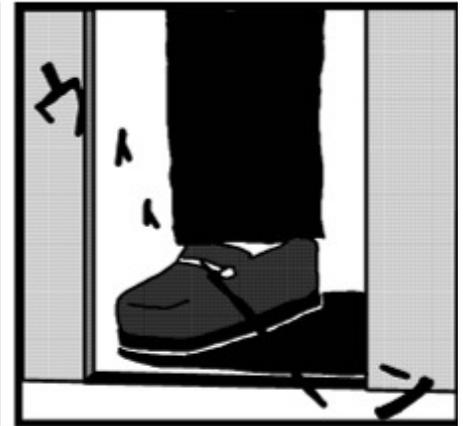
こうして念願のビステッカ  
との再会も果たして  
観光初日の夜がふけていく

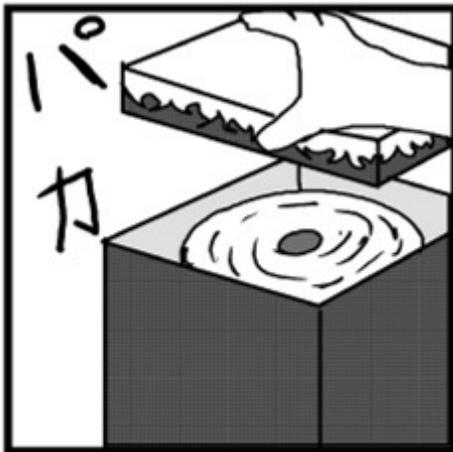
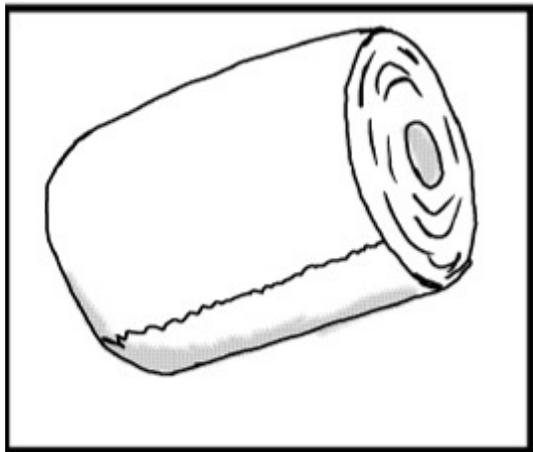


TRE



3日目









3日目 ③ アレッツォ



トスカリーナの田舎町  
中世の城壁に囲まれた  
小さいながらも  
歴史のある町



アレッツォ



ただアレッツォは  
坂の町だから基本的に  
坂道が続く



中心街までの距離は  
駅から徒歩で7〜8分と  
アクセスも便利



監督・主演の  
ロベルト・ベニーニの  
故郷としても有名である

ライフイズビューティフルの  
撮影地であり



あー  
涼しい



ダウンジャケット  
貸してあげる

ハイ

いや  
いらな  
いよ



なんか暑くなってきた



パツと見はかなり  
古めかしく歴史を  
感じさせる

なんかボロいですな



サン・フランチェスコ教会

中に入ると沢山の人が  
歌を歌っている



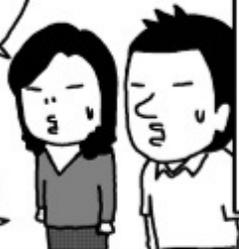
たまたまこの日は  
聖フランチェスコの  
命日で祝典が行われていた

キリスト教徒で  
聖人のひとり  
超スゴイ人



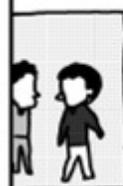
キリスト教でもない我々は  
なんか場違いな感じがして  
そそくさと退散

行こうか  
ここにいちや  
いけない気がする



だね

「聖十字架伝説」という  
有名なフレスコ画があったが  
遠目でチラッとみただけ



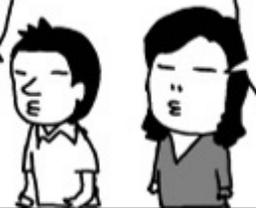
キリストの十字架に  
まつわる物語が  
4コマ漫画風に  
描いてある

ドウオモ



なんかドウオモって  
どこの町にもあるね

一家に一台みたい



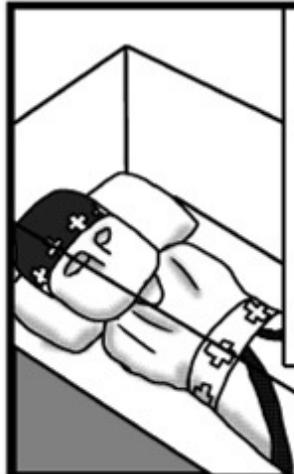
今や一家に一台!!  
**ドウオモ SALE**

今から月々200ユーロ!

9ヶ月間



ちなみにローマ教皇  
グレゴリウス10世の  
墓がある



というわかれても学のない  
自分がみたところ  
よくわからない

へ  
グレムリン10世さんね



グランデ広場



ここは映画にも  
登場していた広場

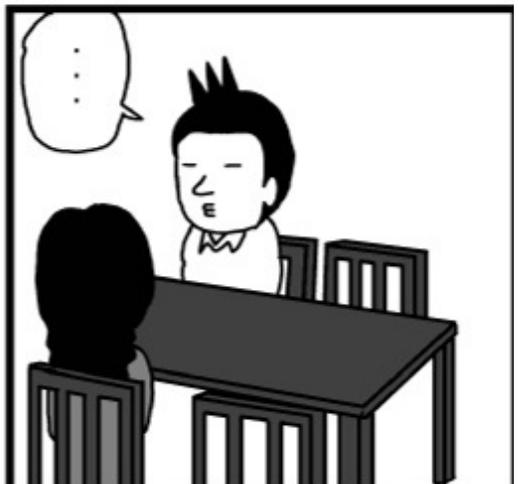
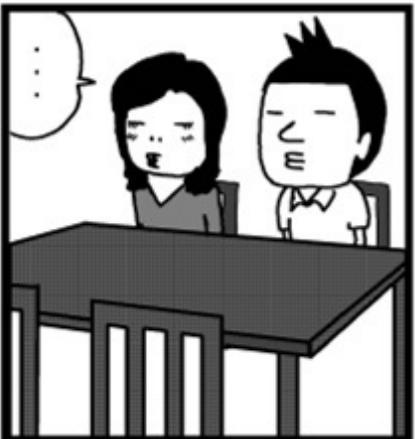


主人公が妻と子と自転車に  
3人乗りで走り抜ける  
シーンはあまりにも有名



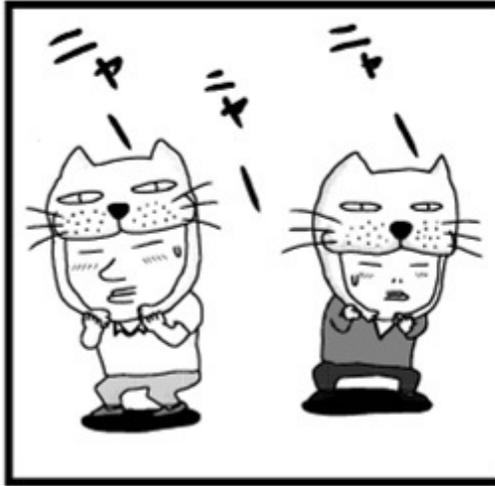


ジーナさんとは  
当ブログに記念すべき  
初コメントをくれた  
プロ友さんなのである  
イタリア在住の  
日本人女性なのである





なんかもうネコをかぶるといっか  
ネコほっかむり状態なのである



しかしとても気さくな人で  
すぐに緊張も解ける

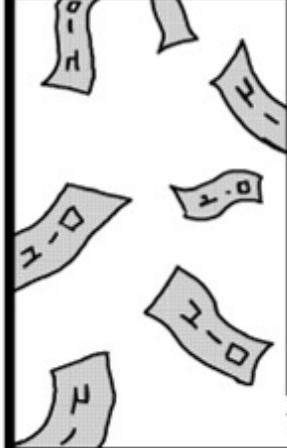


ていうか色々な国を転々と  
しながら海外生活をしている  
くらいなのでバイタリティも  
そして社交性もスゴイ  
殻に閉じこもりがちな我々も  
初めて会った気がしない

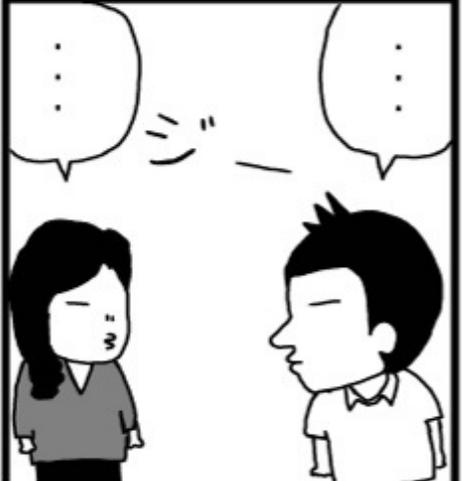
何よりもとても濃密な人生を  
送ってるように感じる



しかしイタリアの不況は  
非常に深刻でイタリアの  
生活もかなり大変らしい



その後ジーナさんと別れて



QUATTRO



4日目

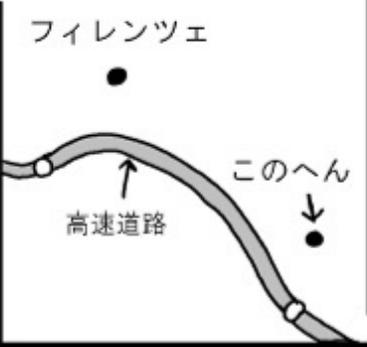
4日目 ① ザ・モール

旅行4日目



イタリアと言えばブランド  
ブランドと言えばアウトレット  
アウトレットと言えばザ・モール  
ということ。今日は買い物の日

ザ・モールまでは  
フィレンツェからバスで  
50分程の場所にある



S M N 駅横の  
S I T A 社のバスで  
行くのが便利

バスターミナルで  
まずは切符を買う  
片道5ユーロくらい



ザ・モールといえばOK  
「アンダーターエリトル」  
と言って往復の切符を  
買っておくと便利

バスは観光客で  
結構混むので早めに  
並ぶ方がいい



20分前なのに  
すでにスゴイ人が



ほとんどが中国人観光客で  
あとは日本人と韓国人が  
わずかにいる程度



なんかもう完全に  
アウェイな状態



なんかもうここが  
イタリアじゃないみたい

しかもバスは待てども来ず  
結局30分遅れで到着



アウェイな状態で  
約一時間も立ちっ放しで  
待ちぼうけ

バスは水色のシャトルバス  
「LECCIO」行きと  
書いてある



そして到着と同時に  
待っていた人たちが  
みんな殺気だつ



ドアが開くと全員  
一斉にドアに飛び掛かる



並ぶという意識は  
全くないらしい

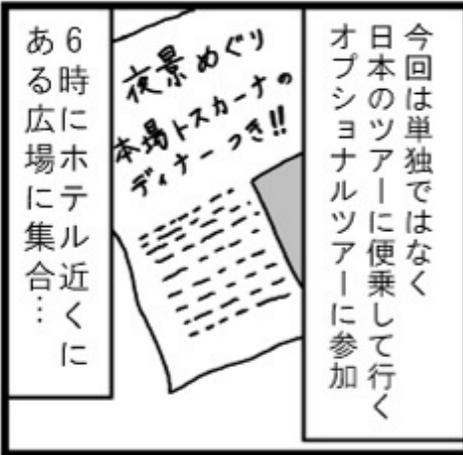




4日目 ② ミケランジェロ広場

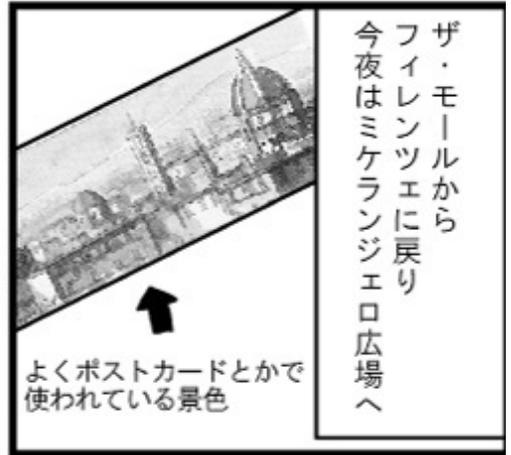


6時5分ホテル



6時にホテル近くに  
ある広場に集合...

今回は単独ではなく  
日本のツアーに便乗して行く  
オプショナルツアーに参加



よくポストカードとかで  
使われている景色

ザ・モールから  
フィレンツェに戻り  
今夜はミケランジェロ広場へ



ツアーということで  
バスで現地まで  
連れて行ってくれる

昼間のアウトレットとは  
違って日本人だけなので  
なんか妙に落ち着く



多くの人を待たせて  
つくづく団体行動が  
出来ないと痛感

すみません



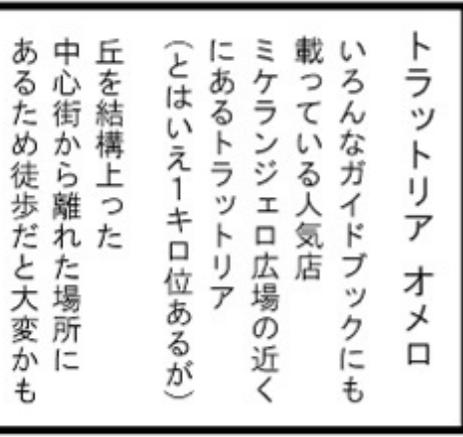
集合場所

ミハイロさん

ミハイロさんは  
いますか?



それ程大きい店ではないが  
店内は予約客で満席



トラットリア オメロ  
いろんなガイドブックにも  
載っている人気店  
ミケランジェロ広場の近く  
にあるトラットリア  
(とはいえ1キロ位あるが)  
丘を結構上った  
中心街から離れた場所  
にあるため徒歩だと大変かも



ミケランジェロ広場に  
行く前に食事をするために  
ちよっと寄り道をする



ピステツカ



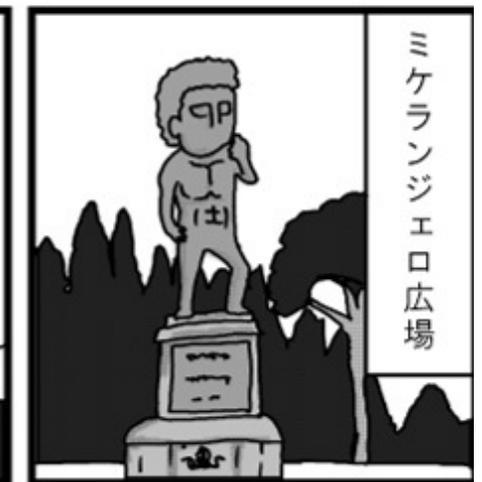
そしてメインのピステツカ



ツアーだったので料理は  
決められたモノがでてる

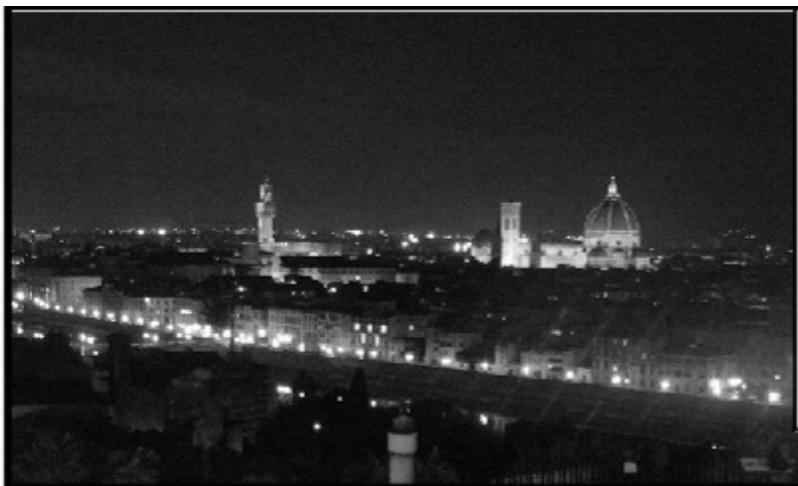
生ハムとペンネのパスタ  
量は少ないが美味しい

うま  
うま



なんとメインイベントの夜景観賞はたったの5分だからみんな駆け足で必死

そこはフィレンツエを一望できる幻想的な夜景が広がっていた



フィレンツエには何回か来ていますものには何回か来ていますものには何回か来ていますものには何回か来ていますものには何回か



と、ここで自由時間終了



それでも粘って2分くらい遅れてバスに戻ると…



みんなすでに着席済みで我々待ち…



やっぱり団体行動は出来ないかと再度痛感

あわてない  
あわてない



CINQUE



5日目

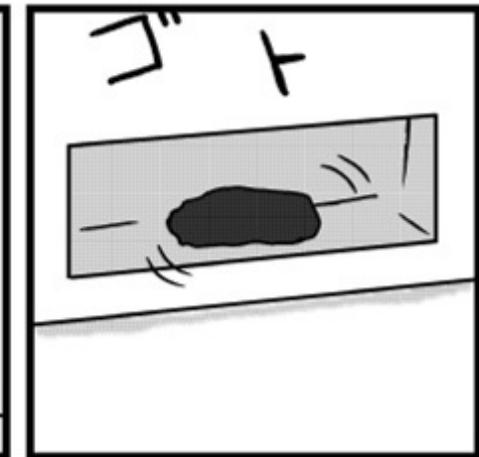
5日目 ① コインランドリー



ということ  
コインランドリーへ



次に横にある自販機で 洗剤を導入





しかし他に客も店員もいない  
無人の店のひとつしかない  
出入り口を完全に封鎖されて  
いる状態：



やっと諦めたかと思ったら  
何を言ってるか分からないが  
思いつき罵声を浴びせられ  
去って行った



物乞いのジーさんに  
罵声を浴びせられて  
気分も悪いので  
優雅なティータイムを

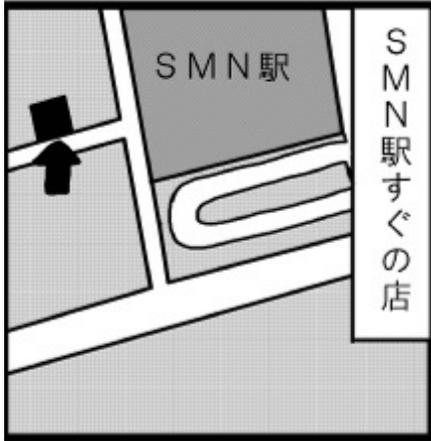


5日目 ② ドウオモ登頂





5日目 ③ 4アミーチ



SMN 駅すぐの店



念のため事前に  
ホテルから電話予約

フロント

今夜は本で調べた  
レストランで夕食



うーん

ここにしよう



店内もイタリアらしからぬ  
スタイリッシュなつくり

新鮮な魚料理が  
食べられる店



4 a m i c i  
(クアトロアミーチ)



まだ7時だもんね

時間も少し早かったので  
他のお客はまだいない



ポナセラー

スーリの店員さんが  
ズラリと並んでいる



おっ

と予約をバッチリして  
店内に入ると：



ムール貝のスープ

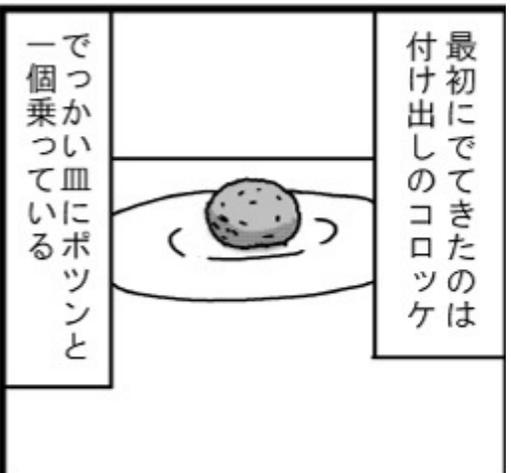


ここでガツチリハートを  
驚つかみされた

まいうーっ

これがウマイ

コロツケ好き

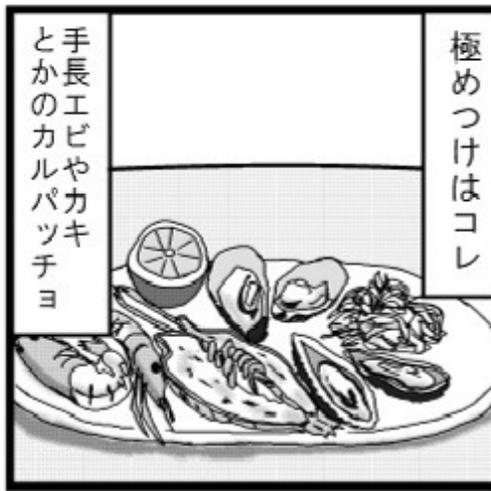


でっかい皿にポツンと  
一個乗っている

最初にててきたのは  
付け出しのコロツケ



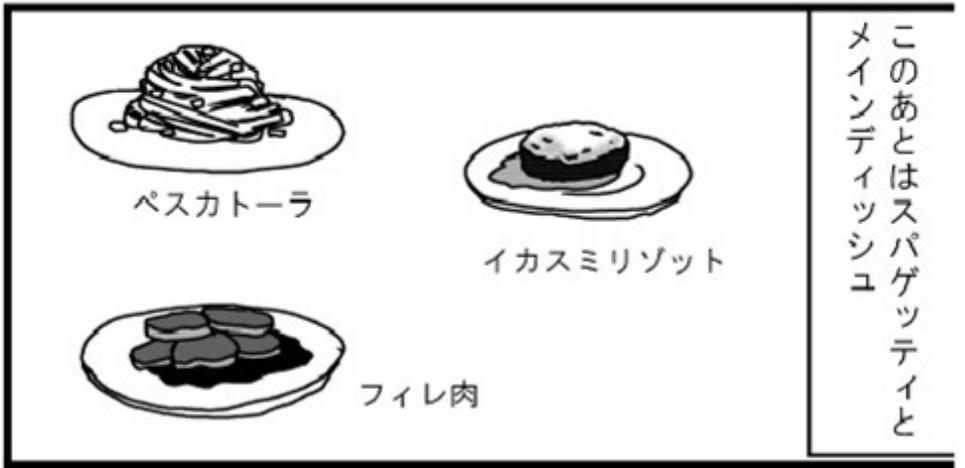
久々の生魚の味に  
感激もひとしお



極めつけはコレ



これもウマイ  
まいうつふふー

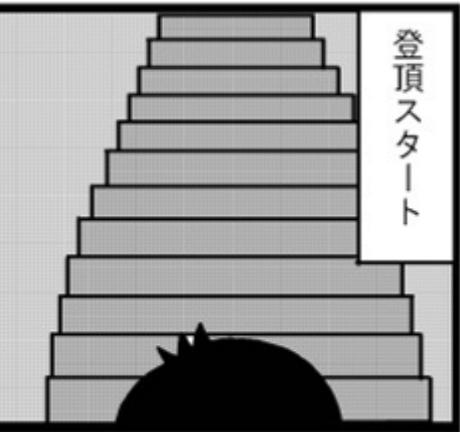
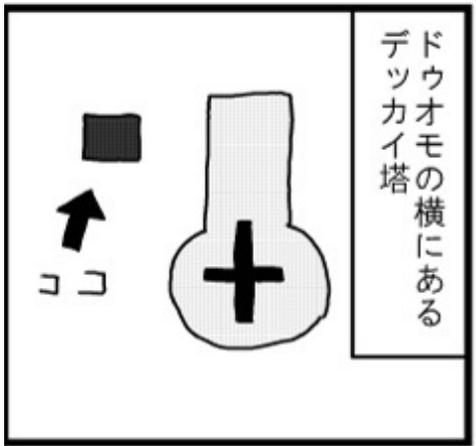


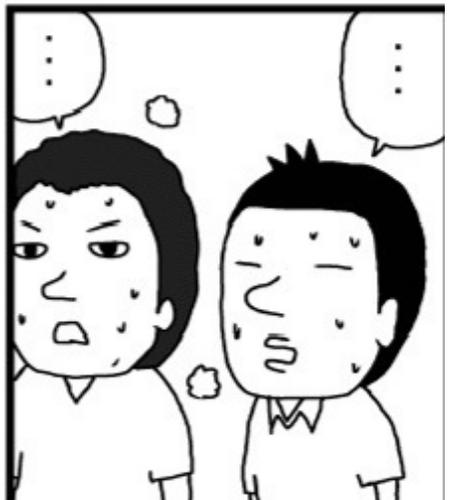
SEI



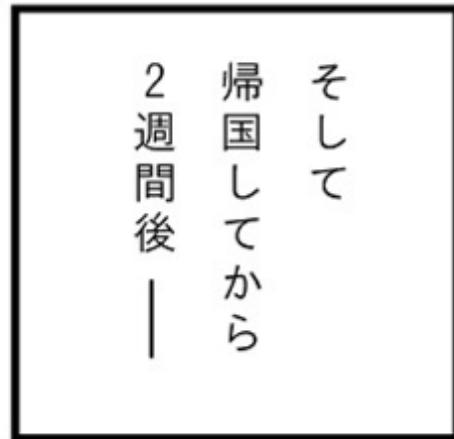
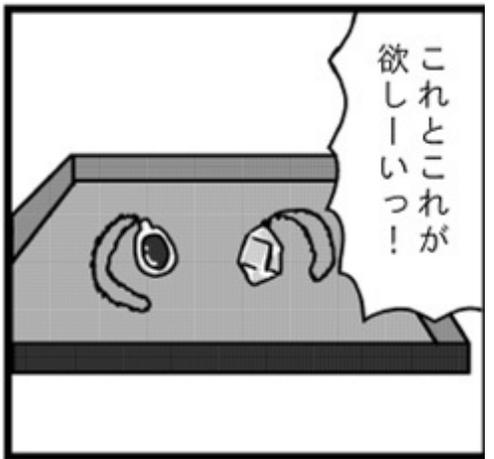
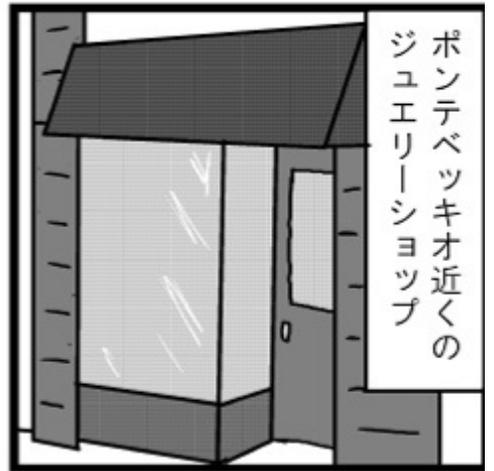
6日目

6日目 ① ジョットの鐘楼登頂





6日目 ② ジュエリーショップ



6日目 ② セリエA観戦



セリエAの中堅チームがホームタウンとしている

フィレンツェといえればフィオレンティーナ



今日は土曜日 毎週土日はサッカーの開催日なのである



時間がないのでタクシースタジアムに向かうと



スタジアムは中心街から車で15分程の場所にある



スタジアム アルテミオ・フランキ



こんなオバアちゃんまで



子供たちも





怒涛のブーイング



観客の熱気も異様

選手が相手に倒されたり  
しようものなら...



オマエがジャマでゴールが  
見えなかったじゃないか!



ドリブルが得意なこの選手が  
ボールを持つとスタジアムも  
俄然盛り上がる



なお先程ゴールを決めたのは  
フィオレンティーナの  
スター選手 ヨベティッチ

子供たちはみんな  
ヨベティッチの名前の入った  
ユニホームを着ている



こんなオバアちゃんと  
オジイちゃんも



とりあえず言っとく



ブッフアラって聞こえるが  
訳すと水牛だけど...

それとも聞き間違いか



しかし気になったのが  
サポーターの掛け声



しかし振り返ったら  
もつとコワイ人がいました



イタリアのサッカー熱に  
コワイと思いなながらも  
カルチヨを堪能でき感無量

ホク  
ホク



試合はフィオレンティーナが  
1-0のスコアで勝利で終了

6日目 ④ 雨の日の刺客



6日目 ⑤ ブカマリオ



いろんなガイド本にも載っているから日本人もいっぱい



2日前に電話してやっと予約が取れた

開店前から長蛇の列が出来る人気のお店



レストラン ブカマリオ

この店の自慢の料理はフィレンツェ名物である特大サイズのピステッカアツラフィオレンティーナなのである



ブカ・マリオ  
サンタマリアノヴェッラ広場の近くにあるレストラン  
1886年創業の超老舗



7時半

オープンと同時に一斉になだれ込む

こんな感じスタッフたちが店内をところ狭しの駆け回る

チャラボウズ



テンションあげあげで店内に笑顔をもたらすムードメーカー

クールマン



無表情で黙々と業務を遂行するニヒルな奴

女ボス



店内の司令塔常に鋭い目を光らせている

そして何よりもバラエティに富んだ明るく愉快なスタッフたち  
サービス精神も旺盛で  
気持ち良く食事することが出来る



ペンギン

コミカルな動きで癒しを提供するマスコットの存在?



フレスコボーイ

爽やかスマイルと華麗な動きで客を魅了する



カンタンテ

オペラ歌手のような美声で歌いながら仕事をするエレガントな奴

料理はポリュームがあつて  
どれも絶品



生ハム



花ズッキーニのフライ



ポルチーニリゾット



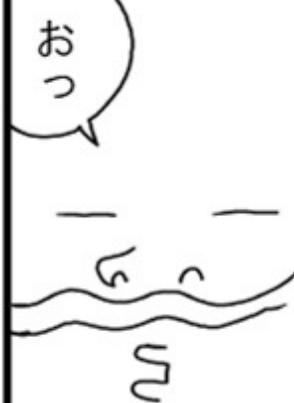
ニョッキ

魚料理

目の前で骨を取ってくれる



そしてやってきました



ビステツカ



味も焼き具合も大きさも  
言うコトなし

キレイなTの字を  
描いたTポーンステーキ



もう昇天しそうである



そして最後に来たのは

チャオ  
カラ  
カラ



名物ドルチエ号

ドルチエ〜  
ドルチエ〜



カートにはケーキからフルーツ  
までドルチエがいっぱい

こんなのを持って来られたら  
頼まずにはいられない

美味しいけどベルトの穴が  
またひとつ外側になって  
しまいましたとさ

プフー

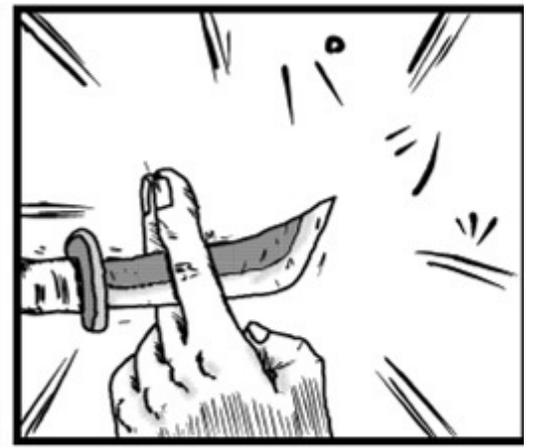


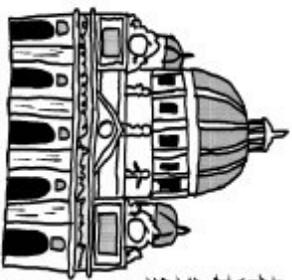
SETTE



7日目

7日目 ① 露魔編





神々の宮殿のさみぬ衣を纏った者が許されれば条件なく切り捨てる

西班牙階段が集う死の階段は様々な悪党が登り切った者は未だにいない

徒例毘の泉再びこの魔都に泉にコインを投げるといふ伝説がある

魔都に滅ぼされた古の都市の跡

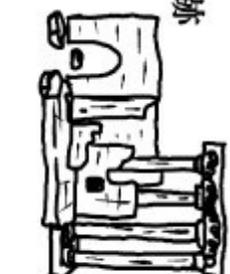
# 魔都 露魔

真実の口を抱える者が口に手を入れたら邪念と嗜切つてしまふ魔界の像



死の地下列車 魅魅魍魎に乗ったが最後、され降りる頃には一文無し

照身煮。何も知らない獲物が日々送られてくる魔都への入口



孤露世汚 日々殺し合いが繰り返される「未散牙」といふ名は悪魔の

7日目 ② ローマにて



ということで  
コインランドリーへ



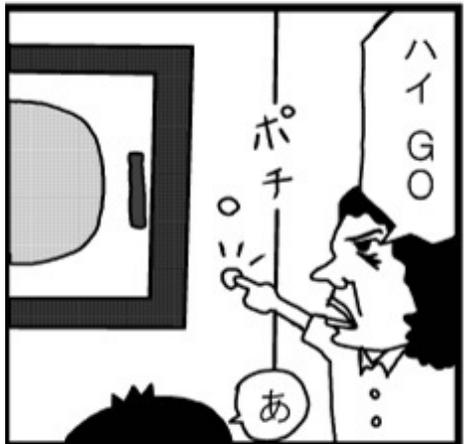
今洗わねば  
明日は着る服もない

スーツケースの中から  
洗濯物の山が...



ローマ観光初日

さあ観光と思いきや



ハイGO

ポチ

あ



チャキチャキ入れな!

わっ

すごいテキパキした  
オバちゃんで促される  
ままに放り込む



クリーニング屋と並列した  
案内スタッフもいるお店

アソコが空いてるヨ



うちの料理は  
とっても美味しいデス

そしてとても親切



コンニチワ

ピッツア?  
パスタ?

カタコトの日本語で  
トラットリアの呼び込み



30分程時間があるので  
ちよっと外へ

お腹へった



まるで町で美人のお姉さんに  
声を掛けられてついていったら  
オッサンが出てきた感じ

パスタ

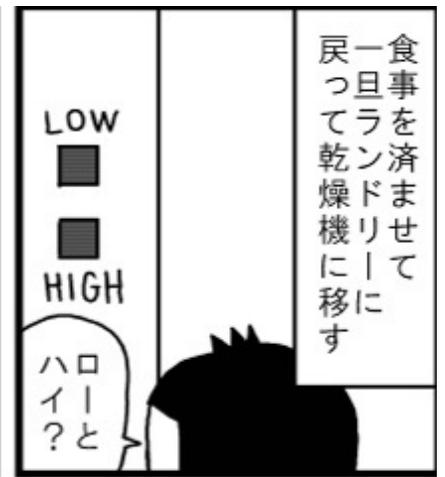


アックア

中のスタッフは  
超無愛想



ところが...



OTTO



8日目

8日目 ① メトロでセッション



そして汚かった駅も  
最近ではかなりキレイに



しかしこのマーク  
いつもマックと間違える



バチカンにむかうため  
地下鉄A線へ



出た

バイオリン弾きの  
物乞いの人



それでも電車の中は  
スリが多いので警戒は  
怠らない



おいおい

やりすぎだろ



おっ?



知りません  
見てください

小心者の自分には  
少々見習う必要が  
あるかもしれない



マダム?

そして車内で堂々と  
セッションして  
お金を貰おうとする  
生活力にも関心する



チラ見すらしない

ところが  
こんな状況にも  
イタリア人たちは  
全く動じない

8日目 ② バチカン市国

バチカン



いやゝ来ましたな  
またしても  
来ましたな  
バチカンの訪問は  
もはや義務のよう

うおっ  
すごい行列

サンピエトロ大聖堂に入るには手荷物検査を受けなければならないが

ココから  
ココまで

その手荷物検査を受けるために常に長蛇の列ができています

ちなみにローマ法王を決めるコンクラーヴェで人々が群がっていた広場

手荷物検査を無事？済ませて

サンピエトロ大聖堂

イタリアで色々な教会とかに行ったがやはりここだけは別格

特に大聖堂に入るその広大さは何度来ても感動する

で、入ってスゲ右手にはピエタ像

磔になったキリストを  
聖母マリアが抱く像

ここは常にたくさんの方が  
群がっていて近づくのも  
ひと苦労である

そして中央の奥には  
ベルニーニ作の大天蓋

この下の地下には  
初代教皇のペテロの  
墓があるらしい

でもって  
そのペテロさんの玉座

なんか魔王とかが  
座ってそうな禍々しさ

よく来たな勇者よ

その玉座の上にある  
ハトのステンドグラスが  
結構好き

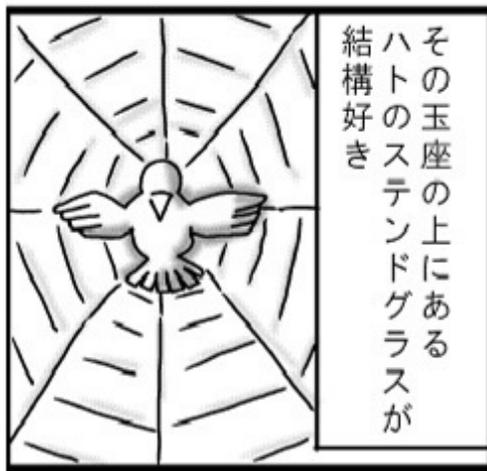
大聖堂の外に出ると  
カラフルな格好の衛兵が

バチカンを守る衛兵たち  
そういえば、なぜか彼らは  
全員スイス人らしい

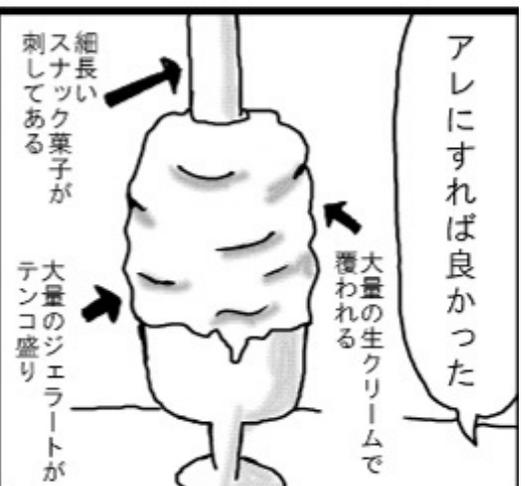
でもやっぱり  
女性は好きらしい

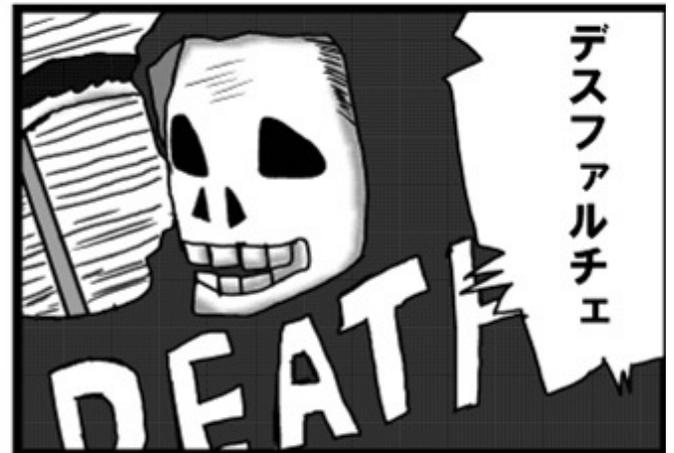
ちようど衛兵の交代時間で  
ちよつとした交代の  
パフォーマンスに歓声が

かけえ



8日目 ③ ジェラテリア 「ジョリッティ」

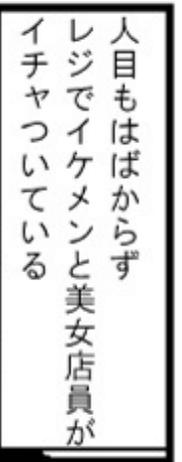


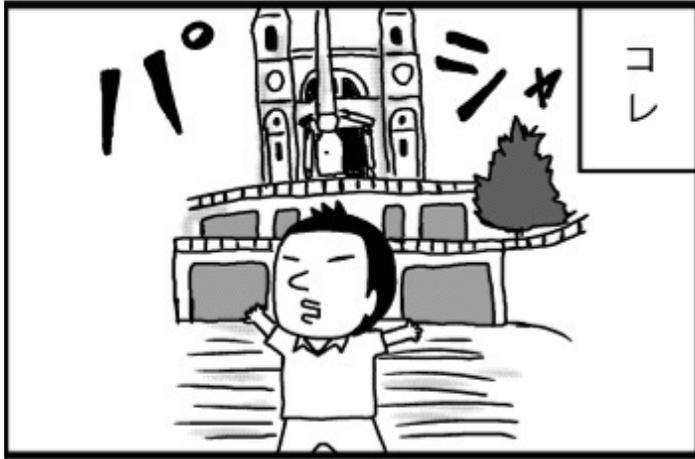


サンタンジエロンとは  
いわゆるお金を貰い  
芸を披露するストリート  
パフォーマーである  
サンタンジエロ城前に  
よく出没するのである



8日目 ⑤ カンポ・マルツオデザイン





NOVE



9日目

フォロローマノ



言わずと知れた  
古代ローマの中心地だった  
とかいわれる遺跡  
紀元前6〜3世紀などという  
とにかくメチャクチャ古い  
貴重な遺跡なのである

紀元前6世紀の日本は  
どんなだったかというと



こんな感じか？

ローマはこんな感じ

温泉行くべ



十数年前にも来ているが  
歴史的価値のまったく  
わからないボクちゃんには  
ただの瓦礫の山にしか  
見えなかった



なにコレ？  
石ばっかじゃん

きったねー

漫画テルマエロマエに  
はまって歴史に興味を  
持ち始めた今日この頃

アウグストゥスが  
アレでコレだよ

だから今回の旅行では  
このフォロローマノを  
一番楽しみにしていた



と気合を入れて  
望んだモノの



とにかく広い

そして暑い





あたしやココで待ってるから  
一人で行ってきていいよ

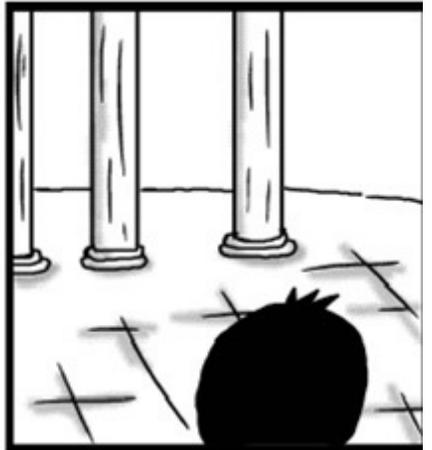
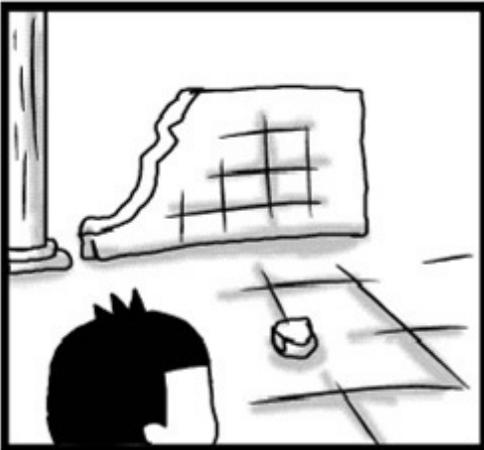
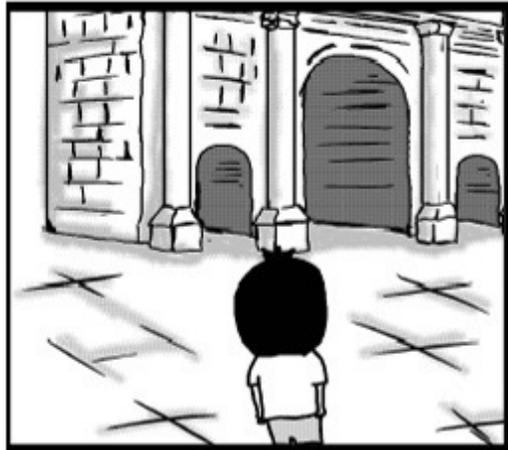


なんかフオロロマーノが  
どうでもよくなってきた…



10月なのに真夏のよう  
に直射日光が降り注ぐ

あひっ



そろそろ行こうか

十分堪能したし

もう限界



当初の予定

ほほうコレがああの有名な  
サトウルノ神殿かね  
イオニア式の円柱で…  
なんたらかんたら…



なんかみんな同じに  
見えてきた



でっっっ出口プリーズ

古代都市にて遭難



おや？

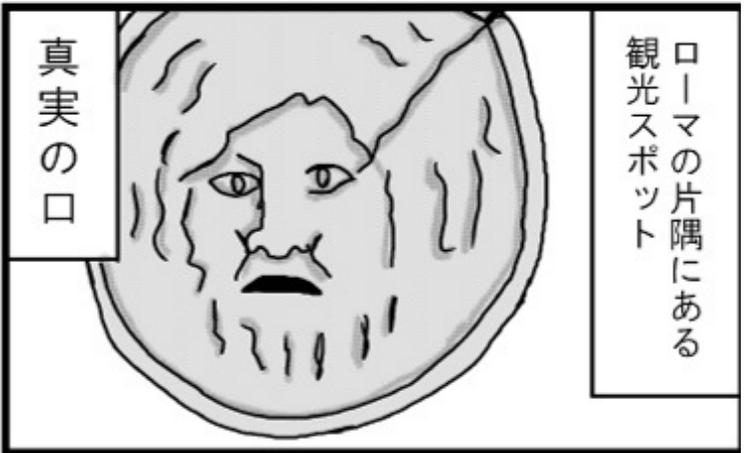


ん？



日々観光客で賑わっている

嘘つきが口に手を入れると嘔み切っちゃうという言い伝えのある恐るべし像



真実の口

ローマの片隅にある観光スポット



サンタマリア・イン・コスメディン教会



少々酷な距離である

フオロロマーノで弱りきった体には



遠い！

が、しかし

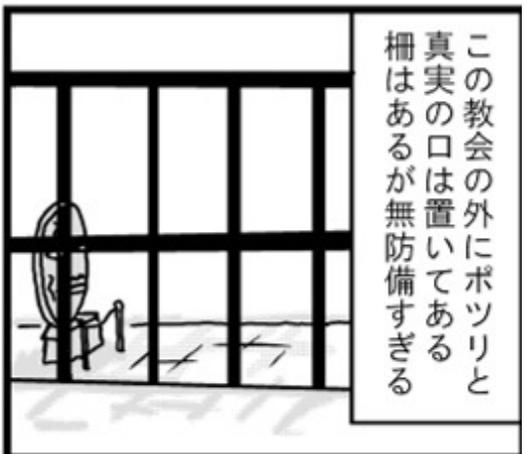


それにしても不気味な面構えである



長蛇の列である

だがそんな場所でもさすがはイタリア屈指の名スポット



この教会の外にポツリと真実の口は置いてある柵はあるが無防備すぎる



WA!!

とてもひょうきん者



嘘つき野郎が手を入れると…

見た目はボブサップだが



そしてこの門番(スタッフ)



待つこと20分  
無事に記念撮影



よっぽどこの掛け合いが  
好きなのか並んでいる人に  
手当たり次第に繰り返す



実はコレ元々処刑の  
道具のひとつだったらしい



では嘘つきの手首切断の  
逸話の出所は何なのか？



この真実の口の像は  
つたらマンホールの  
蓋だったらしい



今ではそんな口の中に  
手を入れて記念写真を  
取っているわけだが



手首ごと切り取る



こんな感じで  
犯罪者の手を入れて…



アナタ次第

信じるか信じないかは



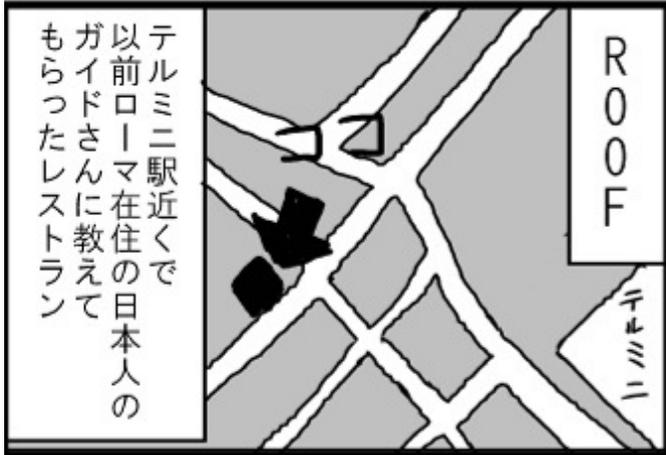
血塗られた真実の口伝説…



処刑された囚人たちの  
霊でもでるのであるうか

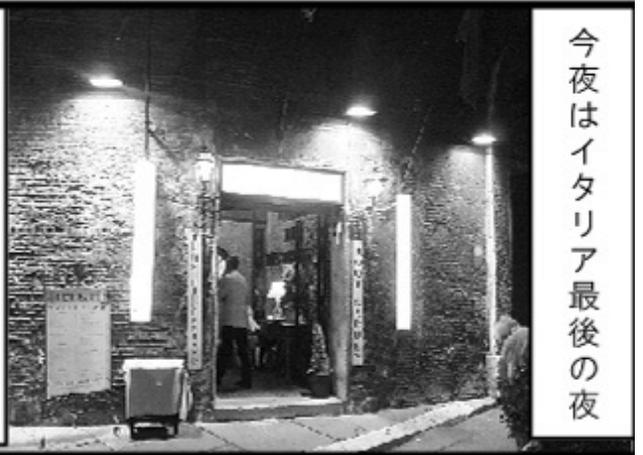
この場所は心霊スポットと  
しても知られているらしく

9日目 ③ Roofの愉快的カメラエレ



テルミニ駅近くで  
以前ローマ在住の日本人の  
ガイドさんに教えて  
もらったレストラン

ホテル近くのレストランで  
食事をすることに

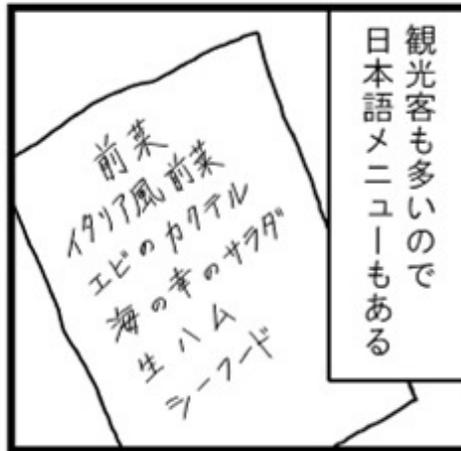


今夜はイタリア最後の夜



コンニチワ

そしてスタッフも  
観光客慣れしている



観光客も多いので  
日本語メニューもある



ホテルが多い地域と  
いうこともあってなのか  
観光客で賑わっている



ハハハ  
ハハハ

失礼

なんと愉快的な  
店員さんだろうか



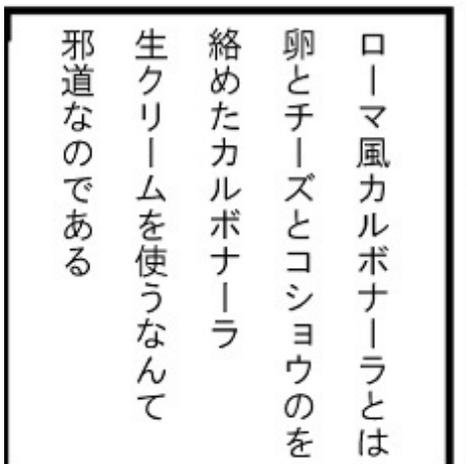
逆だよ逆

写真トリマシヨウ



オジヨウさん  
美人デスネ  
食べチャイタイ

若干一名こんなものもいるが



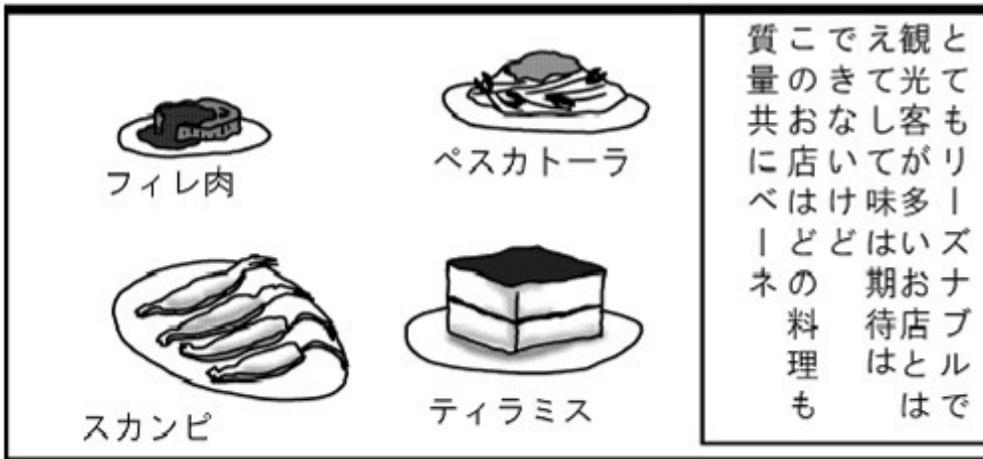
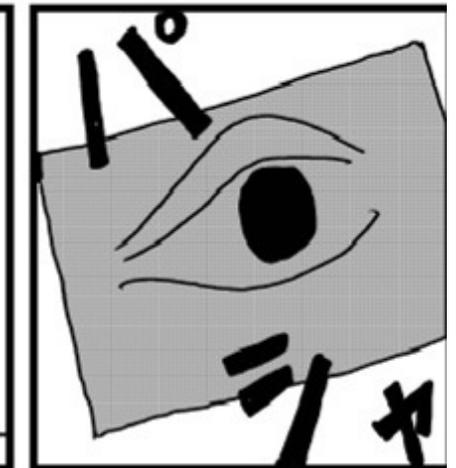
ローマ風カルボナーラとは  
卵とチーズとコシヨウのを  
絡めたカルボナーラ  
生クリームを使うなんて  
邪道なのである



大好物である



ローマ風カルボナーラ

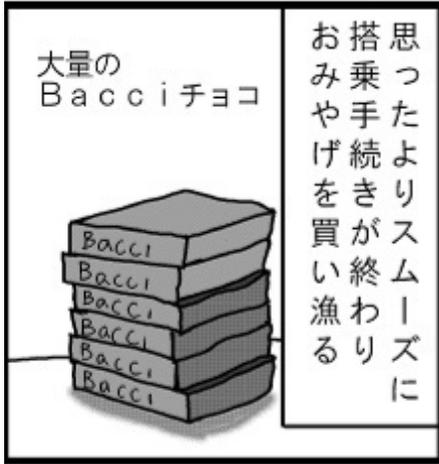


DIECI



10日目

10日目 ① 飛行機の隣人



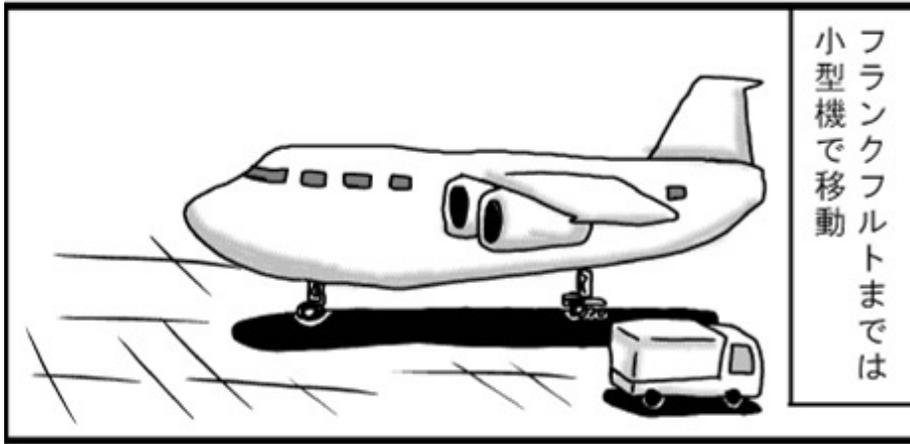
思ったよりスムーズに  
搭乗手続きが終わり  
おみやげを買い漁る



ローマのフィウミチーノ空港  
からフランクフルト空港を  
経由して帰国



今日は帰国日



フランクフルトまでは  
小型機で移動



全部自分用

やっぱり Bacci だよ



どうも満席のためツレの人と  
離ればなれになったようで  
ソワソワしている



我々とアジア系の旅行者  
での3人掛け

機内の席は3人席



毎度この瞬間は  
やはり名残惜しい

出国



ソ...ソーリー

ド...ドンマイ...

ドキドキ



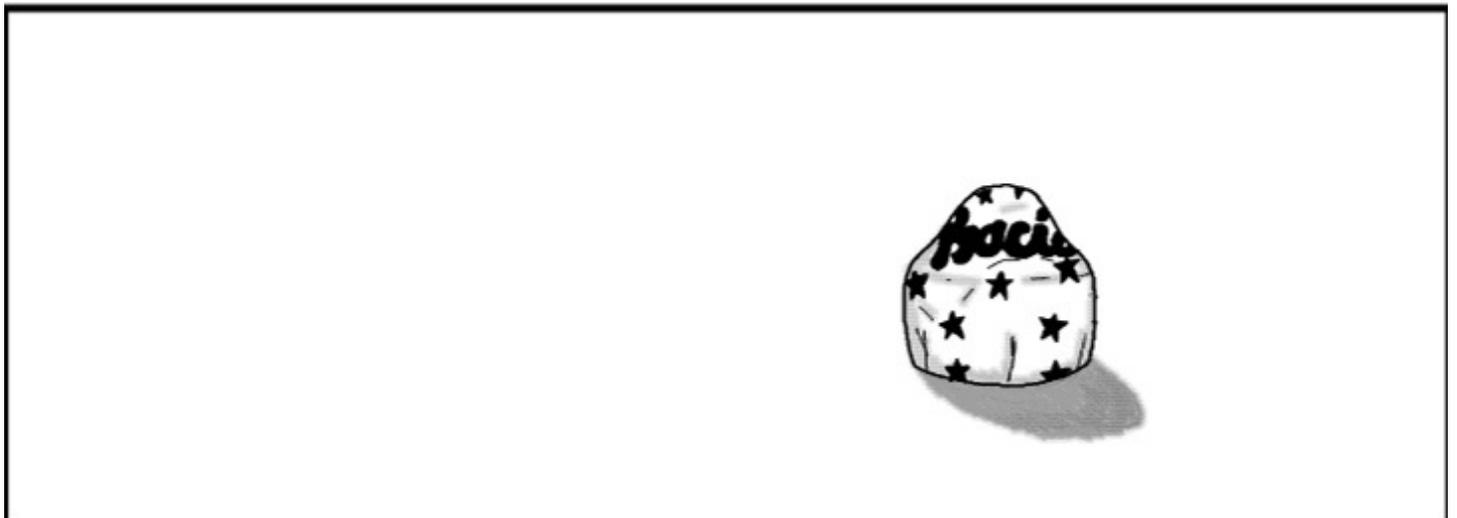
マジかつ

フライトして早々  
コーヒークラッシュ

ジャキ



あつ



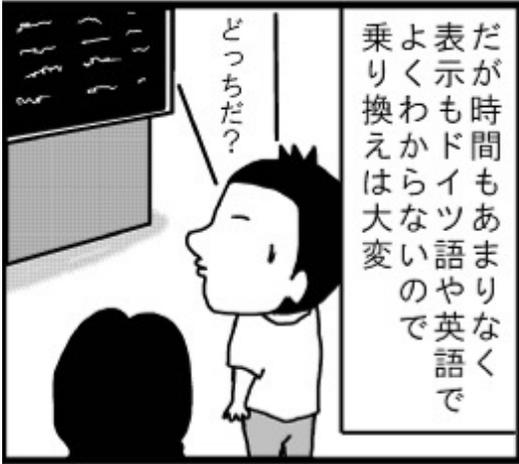
10日目 ② ガーナ人のオバちゃん

フランクフルト空港

ここで日本行き  
の便に乗り換え

だが時間もあまりなく  
表示もドイツ語や英語で  
よくわからないので  
乗り換えは大変

どっちだ?



お?

結構近くのゲートだから  
余裕っぽいね

乗り換えゲートが近く  
安心していたら...

エキスキューズミー

外国人の女性に  
突然話しかけられた



キャンユースピーク  
イングリッシュ?

チヨット

オーケー

は?

じゃあこの人を47番ゲートに  
連れて行ってくれないかしら?

じゃあ  
ヨロシクね



英語は話せますか?

?

どうやら英語は  
通じないらしい...

